

3 予防第 9 1 0 号  
令和 3 年 1 1 月 1 7 日

公益社団法人東京ビルメンテナンス協会  
会長 佐々木 浩二 様

東京消防庁  
予防部長 大竹晃行  
( 公 印 省 略 )

スプリンクラー設備による消火後の水損被害の低減について (依頼)

平素より、消防行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年に入って当庁管内の建物火災において、スプリンクラー設備による消火後、制御弁の閉止に時間を要し、下階に水損被害が発生した事案が複数発生しています。いずれも別紙の事例のとおり、制御弁設置場所が施錠されており、消火確認後、閉止する際に解錠までの時間を要したものです。

つきましては、自衛消防訓練の際、スプリンクラー設備による消火後の制御弁設置場所の解錠及び制御弁閉止までを想定に入れて実施するなど、迅速な活動により下階への水損被害をできる限り小さくできるよう、いま一度ご確認をお願いいたします。

なお、スプリンクラー設備の制御弁の閉止など復旧方法は、当庁の YouTube 公式チャンネル等で公開している動画で紹介しておりますので、あわせてご確認ください。(YouTube 東京消防庁公式チャンネル「スプリンクラー設備・泡消火設備の復旧方法を覚えよう!」(<https://youtu.be/vmsgCD11g8E>))

また、この旨貴協会会員の皆様にご周知くださいますよう、重ねてお願いいたします。

問合せ先

{ 東京消防庁予防部防火管理課自衛消防係 坂本 石本 }  
{ 電話 03-3212-2111 内線 5142 5146 }

別紙

事例 1	
火災概要	1 2 階共同住宅の居室内で出火し、スプリンクラー設備が作動して消火した建物部分焼火災
水損拡大に至る状況	消火確認後、消防隊は駆け付けていた防災センター要員に制御弁の閉止を依頼したが、制御弁が設置されているパイプスペースの鍵を自ら防災センター取りに戻ったため、制御弁の閉止に時間を要した。1 2 階から1 階まで水損被害が発生した。
推定される放水量	約 6,500 ℓ

事例 2	
火災概要	1 0 階事務室内で出火し、スプリンクラー設備が作動して消火した建物ぼや火災
水損拡大に至る状況	消火確認後、消防隊は駆けつけていた防災センター要員及び設備担当者に制御弁の閉止を依頼したが、制御弁が設置されている機械室の鍵は設備担当部署が管理しており、現場にいた設備担当者が1 0 階から地下4 階の鍵の管理場所まで階段で往復したため、制御弁の閉止に時間を要した。1 0 階から3 階まで水損被害が発生した。
推定される放水量	約 3,000 ℓ

事例 3	
火災概要	1 7 階共同住宅の居室内で出火し、スプリンクラー設備が作動して消火した建物ぼや火災
水損拡大に至る状況	消火確認後、消防隊は防災センター要員に制御弁が設置されている場所の鍵を持参するよう依頼したが、持参までに時間を要した。1 6 階の共同住宅居室内に水損被害が発生した。
推定される放水量	約 700 ℓ